

新中自第 号
令和4年12月23日

新潟市長 様

中央区自治協議会
会長 佐藤 雅之

令和5年度 中央区特色ある区づくり予算（区役所企画事業）について（回答）

令和4年10月28日付新中総第573号で意見聴取のあった、令和5年度中央区特色ある区づくり予算（区役所企画事業）について、自治協議会としての意見を別紙のとおり回答します。

令和5年度 特色ある区づくり予算（区役所企画事業）（案）

1	新規	事業名	ぐるっとサイクルツーリズム事業	部会	第1部会
				担当課	建設課
区ビジョン			賑わいと活力あふれ訪れたいくなる拠点のまち		
【事業目的・効果】					
○事業目的					
<p>令和4年度に導入した「にいがた2kmシェアサイクル」を活用し、沼垂やしもまち等、にいがた2kmエリア以外の地域への誘客を図り、中央区内の移動手段の周知とともに、導入効果の中央区全域への波及を目指します。</p>					
【令和5年度事業案】					
<p>沼垂やしもまち等、にいがた2kmエリア以外の地域への誘客に向け、車体に観光やイベント等に関するサインを設置し、利用者の行動変容や意識変化を調査する社会実験を実施します。</p>					
【第1部会意見】					
<p>シェアサイクルが実際にどのように使用されたかについてのデータを活用し、自転車の配置計画を立てることで、適切な配置とさらなる活用の促進に繋がるのではないか。</p> <p>シェアサイクルを安全に利用してもらえるように、自転車通行道の整備や、自転車マナー向上のための講座・啓発活動といった取り組みなども必要ではないか。</p>					

2	新規	事業名	まちなか活性化事業	部会	第1部会
				担当課	総務課
区ビジョン			賑わいと活力あふれ訪れたいくなる拠点のまち		
【事業目的・効果】					
○事業目的					
<p>「にいがた2km」の取り組みと連携しながら、中央区役所や市役所ふるまち庁舎のある古町地区をはじめ、周辺の商店街などにおいて、地域の方々の情報発信やPRなどの催事を開催することにより魅力とにぎわいを創出し、訪れたいくなる拠点のまちを目指します。</p>					
【令和5年度事業案】					
<p>令和3年度は、NEXT21でライトアップやピアノ演奏を行い、4年度は、ルフル広場で事業を開催しました。5年度は、「まちなか活性化実行委員会」で引き続き事業を企画、実施します。委員の構成を見直し、古町で働く人や学ぶ人の視点も入れて、魅力創出やにぎわいづくりを行います。</p>					
【第1部会意見】					
<p>新型コロナウイルス感染症を契機にまちのあり方が大きく変わったように感じる。「何を実施するか」よりも「まちをどうしていきたいか」ということを含めて掘り下げてみてはどうか。イベントを実施するだけでなく、地域住民や周辺事業者などが一体となって参画できるような仕組みづくりを、地域と同じ目線で進めていくことが大切ではないか。</p>					

3	継続	事業名	レッツ トライ！ 糖尿病予防事業	部会	第2部会
				担当課	健康福祉課
区ビジョン			共につながり安心して暮らせるまち		
【事業目的・効果】					
○事業目的					
<p>中央区は、特定健康診査を受けた人の約半数は血糖値が基準値より高いという状況があり、糖尿病予防について取り組んでいます。引き続き多くの区民に関心をもってもらうため、関係団体や民間事業者と連携し、糖尿病予防のためにはまず特定健診受診が大切であることを周知、併せて正しい知識や予防方法の啓発に取り組みます。</p>					
【令和5年度事業案】					
<p>令和3年度は、コミ協等へ栄養士、歯科衛生士等専門職を派遣した講座を実施しました。また、乳児を持つ保護者向け食の講座や、働く世代向けには商店街と連携した従業員への受診勧奨など年齢層に応じた啓発を行いました。</p> <p>令和4年度は、上記の事業に加え、小・中学校と連携した保護者への受診勧奨と啓発を実施しています。</p> <p>令和5年度も引き続き同様の取り組みを実施します。</p>					
【第2部会意見】					
<p>若い世代へ糖尿病になった後の大変さを積極的に周知すれば予防する人が増えると思うので、そういった方法でも啓発してほしい。</p> <p>検診後、血糖値が高かった人への啓発や意識づけを重要視して取り組んでほしい。</p>					

4	継続	事業名	みんなでつながるにっこにこ 子育て応援事業	部会	第2部会
				担当課	健康福祉課
区ビジョン			共につながり安心して暮らせるまち		
【事業目的・効果】					
○事業目的					
<p>中央区は、子育て世帯に占める核家族の割合が全区で一番高く、子育ての不安・負担感が大きいと、孤立しやすい妊娠期から子育て期に切れ目のない支援を行い、育児不安を軽減することを目的とします。</p>					
【令和5年度事業案】					
<p>令和3年度は産科医療機関との連携会議、妊カフェ、育カフェ、育ばる、10か月育ちの講座をリモート開催も取り入れて実施しました。令和4年度は同様の取り組みを実施中です。</p> <p>令和5年度は妊カフェを拡大、育ばる、10か月育ちの講座は見直しを行い統合、その他の事業は継続します。</p>					
【第2部会意見】					
<p>仲間づくりにもなるので、パートナーや初産の方がより積極的に参加できるように取り組んでほしい。</p> <p>子育てサロンや地域の茶の間と連携することで、取組みの幅が広がり、より親子と地域とのつながりを強くできるのではないかと。</p>					

5	継続	事業名	赤ちゃん誕生お祝い会&交流会支援事業	部会	第2部会
				担当課	健康福祉課
区ビジョン		共につながり安心して暮らせるまち			
【事業目的・効果】					
○事業目的					
<p>6歳未満の子どもを持つ世帯に占める核家族の割合が全区の中で最も高い中央区において、「赤ちゃん誕生お祝い会」及び「交流会」を地域と協働で開催し、子育て世帯と地域がつながるきっかけを作ることで、安心して子育てできる地域づくりを推進します。</p>					
【令和5年度事業案】					
<p>令和3年度は、「赤ちゃん誕生お祝い会」を5か所で開催し、4年度も参加者同士の交流、記念品贈呈、地域で活動する団体の紹介、保健師による育児相談を行っています。</p> <p>令和5年度は、事業目的のより一層の推進のため、「赤ちゃん誕生お祝い会」でつくったきっかけをもとに、より地域との交流を深めてもらうことを目的とした「交流会」をセットで開催するとともに、支え合いのしくみづくり推進員による開催支援体制を整備して、事業を行います。</p>					
【第2部会意見】					
<p>実施している地域がまだ少ないと思うので、より多くの地域が「赤ちゃん誕生お祝い会」を実施できるよう広報に力を入れてほしい。</p>					

6	新規	事業名	認知症地域支えあい事業	部会	第2部会
				担当課	健康福祉課
区ビジョン		共につながり安心して暮らせるまち			
【事業目的・効果】					
○事業目的					
<p>認知症は加齢によって多くの人になり得るものであり、高齢化が進む中（中央区：令和2年実績値26.9%→令和22年推計値33.7%）で、社会全体が認知症について理解し、認知症になっても安心して暮らせる地域を目指すことが大切であり、その推進を図ります。</p>					
【令和5年度事業案】					
<p>「早期発見の大切さ」「かかりつけ医（医療・歯科）を持つことの大切さ」についての啓発として、認知症の正しい理解や認知症予防の取り組みを支援するため、専門職を講師として派遣して講座を実施します。また徘徊模擬訓練の実施など、地域の支えあい活動の支援を推進して行きます。</p>					
【第2部会意見】					
<p>物忘れと認知症の違い等、一般の人に正しく認知症を理解してもらえらる啓発も必要だと思う。特に、介護をする人や認知症が増える世代を親に持つ50歳代の人へ向けて、認知症やその補助制度について理解してもらおう機会を作る取り組みを行ってほしい。</p>					

7	継続	事業名	地域のお宝！再発見事業	部会	第3部会
				担当課	地域課
区ビジョン			歴史と文化を受け継ぎ発展するまち		
【事業目的・効果】					
○事業目的					
<p>中央区には、市街地を中心に歴史・文化を感じることでできる歴史的建造物や貴重な文化が数多く存在します。本事業は、それらの地域資源に対し、市民、特に区民の関心を深め、誇りと愛着を持ってもらうことを目的に実施します。</p>					
【令和5年度事業案】					
<p>令和3年度は、新潟シティガイドによる解説付まち歩き「えんでこ」、Instagramを活用したフォトコンテストを行いました。令和4年度は、同様の事業に加えて、子ども・若者を対象としたまち歩きの実施や、区の魅力を発信する動画の作成に取り組んでいます。</p> <p>令和5年度は、隣接する他区との連携や他のイベントとの連携など、既存の範囲にとらわれないまち歩きを企画し、新規参加者の拡充を図ります。</p>					
【第3部会意見】					
<p>まち歩き「えんでこ」の実施日と地域のイベント開催日を同日にし、まち歩きをしながらイベントへも参加できるような体験を伴った企画を検討してはどうか。新潟漆器や古町芸妓を体験できると文化の継承にもつながるのでないか。</p> <p>隣接する他区と連携したまち歩きも積極的に実施してほしい。</p>					

8	継続	事業名	みなとまち新潟伝統的産業PR事業	部会	第1部会
				担当課	地域課
区ビジョン			歴史と文化を受け継ぎ発展するまち		
【事業目的・効果】					
○事業目的					
<p>中央区の伝統的産品である「新潟漆器」、新潟湊の繁栄を象徴する「古町芸妓」について、その魅力を再発見してもらい、次世代への普及促進とともに、これらの産業の振興を目的とします。</p>					
【令和5年度事業案】					
<p>令和3年度は、新潟漆器利用促進事業、区内小学校で区内製造発酵食を使用した給食の提供などを行う発酵食PR事業、古町芸妓PR事業を実施しました。令和4年度は、同様の事業を実施中です。</p> <p>令和5年度は、30代以下を対象とした古町芸妓PRイベントの実施を企画するなど、若い人へのPRの拡充を図ります。発酵食の事業は令和4年度で終了しますが、区だよりでの広報やイベントなどでのPRに引き続き取り組んでいきます。</p>					
【第1部会意見】					
<p>芸妓PRについて、例えば20歳記念などの機会を捉えて若者を中心に芸妓文化の体験をしてもらうことで、新たな層へのPRになり、今後の活用に繋がるのではないかと。また、サブスクリプションのように何度も活用してもらえるような仕組みづくりも検討してみてもどうか。</p> <p>新潟漆器については、知名度をさらに上げていくために、例えば「箸作り体験」のような漆器を身近に感じられるようなイベントに取り組むなどしてはどうか。</p>					

9	継続	事業名	安全な地域づくり事業	部会	第3部会
				担当課	総務課
区ビジョン		共につながり安心して暮らせるまち			
【事業目的・効果】					
○事業目的					
中央区は8区の中で最も人口密度が高く、高齢者の数も最多となっており、防災・防犯・交通安全対策を一体的かつ総合的に取り組むことで、安全な地域づくりを進めます。					
【令和5年度事業案】					
令和3年度は、防災人材育成・地域づくり事業として、避難所運営講習会、自主防災組織の資機材購入費助成、避難行動要支援者との関係づくり、地域版津波自主避難マップ作成支援を行いました。					
令和4年度は、津波自主避難マップ作成支援を終了しましたが、上記に加え、防犯、交通安全対策を地域とともに一体的かつ総合的に取り組んでいます。					
令和5年度は、防災の担い手育成や自転車運転マナーの向上などを拡充します。					
【第3部会意見】					
防災の担い手育成においては、地域による避難所運営の難しさをふまえ、発災時の役割分担など具体的な指導を意識する必要がある。					
自転車運転マナーの向上にかかる啓発は、高齢者や主婦層も対象に実施すべきである。					
自転車の保険を意識する機会が少ないため、啓発活動や説明を聞くことのできる場を提供するなど、きっかけづくりが必要である。					

10	継続	事業名	鳥屋野潟環境啓発事業「とやの物語」	部会	第4部会
				担当課	窓口サービス課
区ビジョン		水と緑に囲まれた自然と都市が共生するまち			
【事業目的・効果】					
○事業目的					
鳥屋野潟周辺の自然環境に対する認知度の向上を図り、環境意識を高めることにより、広く市民等の環境への取り組みを促し、都市と自然豊かな水辺が共生するまちづくりを推進することを目的として、環境啓発事業を行います。					
【令和5年度事業案】					
令和3年度は、各学校への出前講座、映像教材の制作、環境啓発パネルの展示を行いました。					
令和4年度は、同様の取り組みに加え、鳥屋野潟一斉清掃を行います。					
令和5年度は、出前講座、映像教材制作、鳥屋野潟一斉清掃を行います。また、他の潟との連携の一環として、福島潟や佐潟の先進的な取り組み（ビオトープ等）の調査を行います。					
【第4部会意見】					
とやの物語の取組を海外の人等にも知ってもらうため、SNSを活用すると良い。また、鳥屋野潟周辺校だけでなく、中央区内の様々な学校で出前講座を展開することができるよう、引き続きPRをしてほしい。					

11	継続	事業名	区民協働森づくり事業	部会	第4部会
				担当課	建設課
区ビジョン			水と緑に囲まれた自然と都市が共存するまち		
【事業目的・効果】					
○事業目的					
<p>汐見台周辺の海岸林は、林帯幅が他のエリアに比べて狭く、季節風などの減衰効果が弱いため、防風対策が望まれています。</p> <p>本事業は、防風対策を主な目的とし、区民協働によりクロマツの植樹から管理、利活用までの森づくりを行います。</p>					
【令和5年度事業案】					
<p>令和3年度は、汐見台エリア活用連絡協議会を開催し、クロマツ苗500本の植樹を行いました。令和4年度は、協議会の開催・計画策定、育成したクロマツの密度管理（除伐）、植樹エリアに隣接する海浜植物園への植栽、区民への周知活動を実施しています。令和5年度も、令和4年度に引き続き、同様の取り組みを行うと共に、管理用通路の設置を行います。</p>					
【第4部会意見】					
<p>防風林の植樹だけでなく、その空間を利活用するという点で、人々が楽しみながら関心を持てるような取組があると良い。また、除伐した松の有効活用についても検討してほしい。</p>					